

一般社団法人 SKY あーとの防災学習

1. 一般社団法人 SKY あーとについて

私たち SKY あーとでは丸亀市子育て支援課及び丸亀市教育委員会からの委託を受けて、地域の子どもが安心・安全な環境で基本的な生活習慣・学習支援・食事の提供などを行なっています。主に丸亀市内の小学生が対象で、平日の放課後や長期休暇時は朝から子ども達の元気な声が聞こえてきます。ひとりひとりが自己肯定感や人や社会と関わる力など将来の自立に向けて生き抜く力を育めるようにたくさんの体験活動にも取り組んでいます。

2. 今回の防災体験学習のねらいについて

大きな震災の経験から各地で支援の輪が広がり、毎年のように水災害や予期しない気象状況など「災害」という言葉がとても身近なものになってきました。

防災に関する知識の学習や、避難訓練なども行われていますが被災したその瞬間の対応もさることながら、避難所での生活や有事の際自分以外の人を思いやることの困難さの想定訓練こそ子ども達に体験して欲しいと思いました。

怖くて危険という認識だけでなく、

実際の避難所になる川西コミュニティセンターで宿泊し、炊き出しやさまざまな年代の人と交流をはかりながら協力することでたくさんのことを乗り越えていけることを学んでもらえるよう、様々な体験学習を企画しました。

3. 防災体験学習について

(1) 参加者の概要

丸亀市内の小学生 1年～5年生 25 人

SKY あーと職員 5人

以下ボランティア他ご協力いただいた団体

川西地区自主防災会

丸亀市危機管理課

陸上自衛隊善通寺駐屯地

四国学院大学 地域災害ボランティアサークル

香川県立保健医療大学

香川大学

SoftBank

超リアル防災体験学習【写真-1】



善通寺自衛隊駐屯地見学 集合写真



善通寺自衛隊駐屯地見学
戦車を見学する児童のようす



善通寺自衛隊駐屯地見学
リュックの中身を見せてもらう



新聞紙を使った紙食器づくり



避難所シミュレーションゲーム
チームに分かれて意見を出していく

超リアル防災体験学習【写真-2】



川西地区自主防災会岩崎会長による防災講習



川西地区自主防災会岩崎会長による防災講習
岩崎会長に質問をする児童



炊き出し体験
炊き出しのご飯を装う児童



炊き出し準備
薪割りに挑戦する大学生ボランティア

超リアル防災体験学習【写真-3】



Pepper によるラジオ体操



2日目集合写真



2日目まとめ

丸亀市危機管理課 滝川さんのお話

超リアル防災体験学習【写真-4】



スタンプラリー(四国学院大学ブース)
川西地区のハザードマップを
確認する児童のようす



スタンプラリー(丸亀市危機管理課ブース)
土のう作りに挑戦する児童のようす



スタンプラリー(ソフトバンクブース)
Pepper と一緒にクイズに挑戦する児童のようす



2日目まとめ
丸亀市危機管理課 滝川さんのお話

(2) 体験学習のカリキュラム

【1日目】・自己紹介/アイスブレイク・自衛隊善通寺駐屯地見学

- ・紙食器づくり・Pepperによる防災クイズ
- ・川西地区自主防災会岩崎会長による防災講習・炊き出し体験
- ・避難所シミュレーションゲーム・ランタン、湯たんぽづくり
- ・避難所宿泊体験

【2日目】・Pepperによるラジオ体操・炊き出し体験(朝食、昼食)

- ・防災講習風水害編(Pepper、丸亀市危機管理課副課長 滝川さま)
- ・スタンプラリーで風水害を学ぼう！
 - ソフトバンクブース「防災〇×クイズ」
 - 丸亀市危機管理課ブース「土のうを知ろう！作ろう！運ぼう！」
 - 四国学院大学ブース「ハザードマップってなあに？／防災スリッパ作り」
- ・まとめ、振り返り、記念撮影

(3) 参加者の声

「おうちに帰ったら学んだことを家族の人に伝えて、みんなが安全に暮らせるような準備をします。(小3)」

「もし自分が災害に巻き込まれたときには、今日のことを思い出して周りの人も助けたいです。(小3)」

「炊き出し体験では、外で温かい豚汁と白ご飯を食べました。玄関を出てとてもいい匂いがした時には、ほっとした気持ちになりました。(小4)」

「いつもは入れない自衛隊に入れて楽しかったです。自衛隊の人はいろんな準備をしていると分かりました。(小1)」

保護者の方々

・家に戻ってきてから学んだことをたくさん話してくれました。普段からの防災意識が高まったように感じます。今回のイベントをきっかけに家族でも話し合い、防災グッズを購入することにしました。

・子ども同士での学びも多く、違う学校のお友達ができて楽しかったそうです。さらに大学生や地域の方々との交流もあったため、学校や家とはまた違った人とのつながりができました。

(4) 大学生ボランティアの活動と声

今回、ご協力頂いた大学生ボランティアには子どものサポートをはじめ、炊き出し体験での薪割りや火おこし、各活動での準備・進行を担当して頂きました。

「今回のボランティア体験で子どもたちが真剣にかつ楽しく学んでいる姿が印象的でした。私自身も学ぶことが多く、スタンプラリーのブースを担当した際には子どもに分かりやすく伝えることに苦戦しました。また炊き出しでは初めてのことも多く、火の調節や水の量など自主防災会の方たちに1から教えて頂きました。ごはんが上手く炊けて子どもたちにおいしいと言ってもらえた時にはとても嬉しく、達成感とやりがいを感じました。今回の体験学習で学んだことを教訓に次へ活かしていきたいです。」
四国学院大学地域・災害ボランティアサークル1年生小松弘明さん

(5) 今後の予定

毎年行っている救命救急講座や消防車・救急車への連絡方法など日常生活における緊急時訓練や勉強会を継続するとともに、今回のような体験型学習や防災訓練を子どもの目線で楽しくわかりやすいイベントを企画していきたいと思います。

より多くの経験を重ねることで、地元で災害が起きた時地域の人を思いやれる子どもに育ってくれることを願い子どもの健全育成に努めたいと思います。

離任のご挨拶

元 香川県危機管理総局次長（兼）政策調整監 植松 和弘

この度の人事異動で、危機管理総局から異動することとなりました。

私は、平成 24 年 4 月から 2 年間、危機管理課で勤務しており、今回、約 10 年ぶりの危機管理総局での勤務でしたが、各地域の自主防災活動が着実に充実してきていることを実感いたしました。

これもひとえに、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様に、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多大な御苦労がおありになられたとは思われますが、日々、各地域において、自主防災活動の活性化に向け、多大な御尽力をいただいている賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、近年、全国各地で大規模な風水害が頻発しており、本県においても甚大な被害が想定される南海トラフ地震の今後 30 年以内の発生確率も高まってきております。

日頃より高い意識を持ち、様々な取組みを進められている皆様方には、あらためて申し上げるまでもありませんが、大規模災害が発生した場合に、少しでも被害を軽減するためには、「自助」、「共助」、「公助」が緊密に連携・協働することが極めて重要であり、「共助」の要として、自主防災組織の果たす役割は、今後、ますます大きなものとなってまいります。

県では、自主防災組織等が実施する防災訓練や、地区防災計画策定の取組みなど、自主防災活動の活性化に資する取組みについて、市町とも連携を図りながら、引き続き、支援してまいりますので、皆様方には、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、かがわ自主ぼう連絡協議会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、転任のご挨拶といたします。

1 年間という短い期間でしたが、ありがとうございました。

元 香川県危機管理総局危機管理政策主幹（兼）副課長 溝渕 哲生

この度の人事異動により、令和3年度から2年間勤務した危機管理課を離れることになりました。私は、平成29年度から令和元年度までの3年間も課長補佐として在任し、合わせて5年間、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様には、大変お世話になりました。

南海トラフ地震の発生は、刻一刻と迫っており、県民一人ひとりが「その時」を想定して、着実に備えを進めていく必要がありますが、私は、様々な業務に携わる中で、県民の防災意識はまだ十分ではないことを実感しています。

かがわ自主ぼう連絡協議会では、県内各地の自主防災組織などが実施する訓練への支援をはじめ、学校、福祉施設などと連携した防災活動など、地域防災力強化のための様々な取組みを先頭に立って、進めていただいております。こうした活動が県全体に広がっていくことで、県民の防災意識が高まり、自助の取組みも進んでいくものと確信しております。今後一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、かがわ自主ぼう連絡協議会の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、転任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

元 危機管理総局危機管理課防災指導監 松村 朝生

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様には、平成30年4月に危機管理課へ配属されて以降、5年にわたり、大変にお世話になりました。

この間、全国各地で大規模な地震や風水害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしました。大規模災害が、いつ、どこで起こってもおかしくない状況であり、他人事ではなく、自分のこととして災害に備えることが本当に大切だと、改めて強く感じています。また、災害への備えは、日常の中で、身近なところで行わなければならないものだと感じています。

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様の取組みは、「共助」の要である自主防災組織の活動の活性化への支援を行うとともに、「防災」を通じたコミュニティづくりの一助となるものであります。さらには、災害への備えを、一人ひとりが、そして、地域で助け合いながら行っていく大切さを伝えていくものであり、長年にわたる皆様のご尽力に深く敬意を表します。

これからも、「自助」や「共助」の充実による災害に強い香川づくりに、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、かがわ自主ぼう連絡協議会の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

元 危機管理総局危機管理課 主任 中村 咲貴

この度の人事異動により、4年間勤務した危機管理課を離れることになりました。皆様方には大変お世話になりました。

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方は、新型コロナウイルス感染症拡大の中でも、いつ発生するか分からない災害に備え、県内各地の防災訓練や研修会等に精力的に取り組まれており、その使命感と行動力にパワーをいただきました。

かがわ自主ぼう結成15周年記念事業では、司会という大役をお任せいただき、ありがとうございました。

これからも、「共助」の要として、香川県の防災・減災対策へのお力添えをお願いいたしますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

今月は新中方橋開通を紹介したいと思います。

新中方橋開通しました！

1. 新中方橋開通について

かねてより工事中であった土器川にかかる中方橋が約8年ぶりに令和5年3月19日開通しました。平成27年7月の台風被災により、長きにわたって鉄板の仮橋を通行してきました。

このたび開通前日(3月18日)の午前11時より、池田知事をはじめ、地元県議会議員の皆様や丸亀市長等のご出席をいただき、地域主催による初めての、記念イベントを行ないました。

第1部 地元八幡神社宮司による祝詞奏上、
県知事さんを始めとする来賓各位、
並びに地域代表者等の玉串奏奠



池田知事、玉串奏奠

第2部・主催者代表あいさつ 岩崎正朔 コミュニティ会長

・来賓あいさつ 香川県知事 池田豊人様、香川県議会代表 香川芳文様
丸亀市長 松永恭二様

・テープカット 池田知事はじめ8名によるテープカット

・渡り初め 八幡神社奴連、飯山南小学校音楽クラブ
池田知事、県議4名、市長、市議会5名
地域コミュニティ会長、役員、八幡神社氏子総代

・獅子舞奉納 川西岸ノ上地区淀川流獅子舞の奉納

尚祝賀お祝い「横断幕」はe-とぴあ・かがわにおいて作成していただきました。



テープカットの様子



新中方橋、全長 319m

編集後記

4月の防災減災の輪は、一般社団法人SKYあーと様の原稿を掲載させていただきました。ありがとうございました。